

会報 第七号 島根県精神当事者連絡会



日常雑感

1さん

先日近くの温泉にでかけた時のことです。

御風呂に通じる廊下のカサミの本棚の上に一輪の彼岸花と野菊が小さなガラスのコップに活けておいてあった。それを見て、季節を忘れず咲いた草花の逞しい生命力に圧倒される思いであった。玄関を出ると私はそのまま車で宿をあとにした。目に映る車窓の風景は、ことごとく、自然にかえってゆくかに思えた。日は既に西に傾き、こもれ日が肌に心地よい。しばらく木陰の道をゆくと雑踏に出た。焼付くアスファルトの熱風にあおられて、たちまち眼がさめた私は、路傍風に揺れる様を発見して、自然と芸術はちがう、そんなことを考えながらふと小さな秋を活けてくれた宿の人のこと懐かしく思い出していた。

水清く、山は青く、空は高く空気は澄んでいた。貴重な時間だ、無駄を出さず大事に仕事を続けたい。厳しい現実だけにそれだけ働きがいもあると思う。

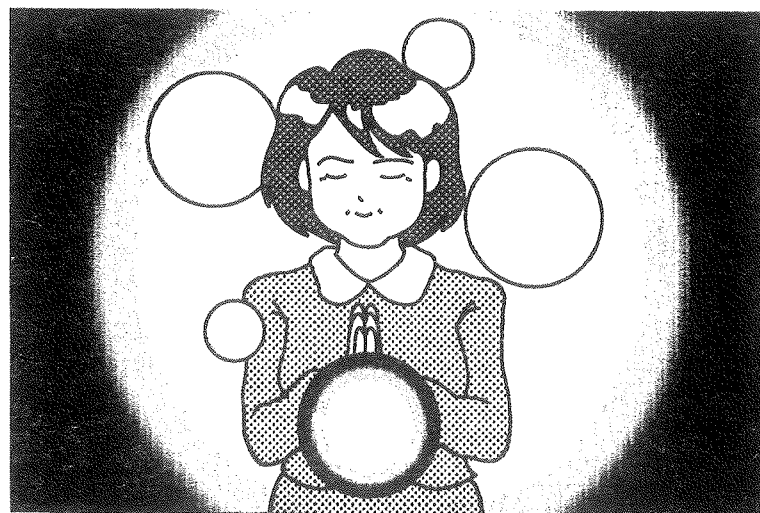
今日は彼岸の入り、仏心をよるこび、有弱に、感謝し、大きな恵みに生かされて来たことを有難なしと思うとともにこれまでご御指導いただいた方々と会員の皆様の健康と幸せをお祈りいたします。最後になりましたが、本会の増々の発展と会員のご活躍を希望します。

題「生きること」

1さん

生きるとは、どんなこと
生きることには励みを持ち、生きることには賢明である事、それは生き甲斐を持つことであります。育む命に励みをと力強く支援する。それは、頑張りの精神で生き抜く事に精力を養う事であり、生きることには意欲的に躍進して頑張る事であり、生きることには慈しみ愛して、慈愛なりと合掌であります。優しく思いやりのある生き方もよかれと躍動と、生きる事に感動的であると、幸せを求めてやみません。生きる事の人生謳歌と尊びて、人生論を語るもよしと励みて語りて、生きる事の素晴らしさと有り難さを祈る事であり、生きる事は有り難くもあり、慈しみ尊ぶ事であり、

合掌



原稿を募集します。
投稿され、掲載された方は、若干の御礼をしますので、
お願いします

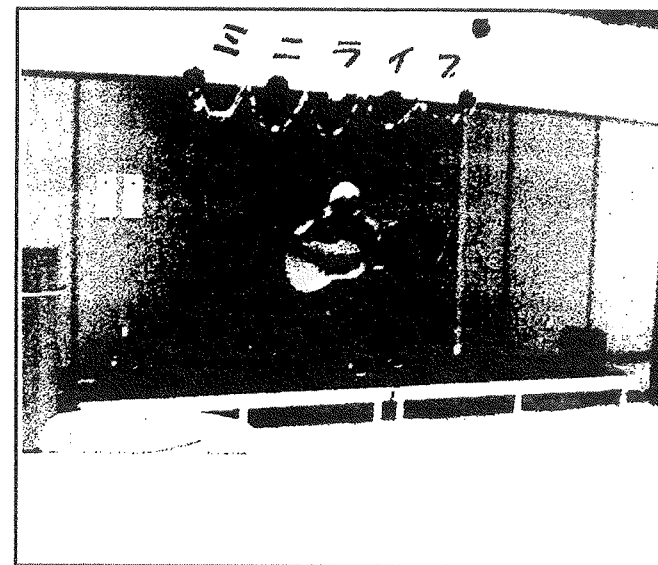
第一回ほほえみの風イベントについて

9月29日（土）に出雲パルメートで、精ボ連と県連の共同主催で、イベントを行いました。

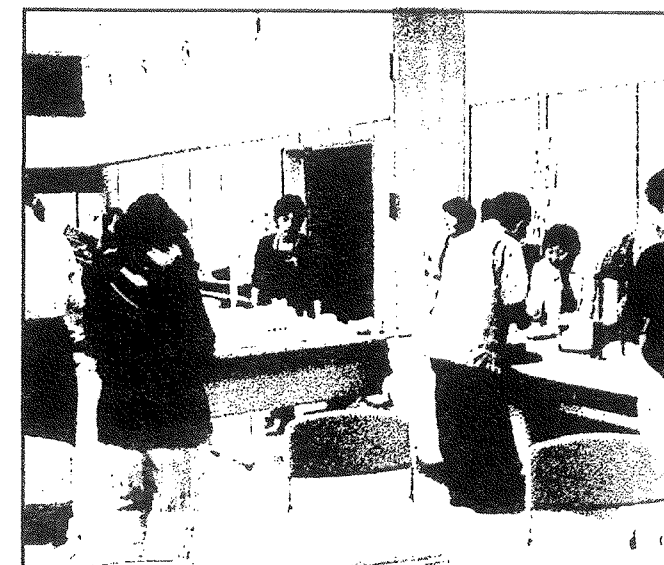
主な目的は、一般の方々との交流と理解でした。

約180のお客様が来られ、大盛況のうちに終了しました。

協力していただいた皆様にお礼申し上げます。



ミニライブの様子



喫茶コーナーの様子

11月24日（土）12：30～浜田「オアシス」にて第2回島根県精神当事者連絡会の研修会を開催します。

研修会のテーマは「私達の自立支援法」です。皆様の参加をお待ちしております。

オアシスまでの地図です！

